

# ばんたね ネットワーク

2025年度

## 救急科のご紹介

### 診察時、こんなことはありませんか

- 帰宅させてよいか判断に迷う
- 精査が必要だが、診療時間内に終わらない
- 至急紹介したいが、診断がついていない



### 地域医療連携センターへ ご連絡ください

TEL : 052-323-5918 (時間内)

052-321-8171 (時間外)

※代表番号

営業時間：平日 8:45～19:00

土曜日 8:45～12:00

救急科と連携し、  
対応させていただきます

救急科 金子 唯 教授

救急科はばんたね病院の救急対応の要である救急外来に専従しております。これを地域に広げ、地域の救急対応の要としてご利用いただければと思います。

充実した診療体制を整えており、断らない救急を基本としております。何かお困りの際はご連絡ください。

### 救急科の特徴

#### 充実したスタッフ

救急専門医・専従看護師に加え、NP（診療看護師）、救急救命士が在籍しております。それぞれの専門性を生かしながら、チーム一丸となって対応しています。

#### 専門科との迅速な連携

各専門科とシームレスな関係を築いており、初期対応から専門科の診察まで迅速に連携しています。

#### 受け入れ実績



受入患者数は年々増加しており、2023年以降は1万人/年以上受入れております。

## 新任医師のご紹介

総合アレルギー科  
峠岡 理沙 准教授

外来担当日：  
火曜日・木曜日

このたび、9月より藤田医科大学ばんたね病院 総合アレルギー科に准教授として着任いたしました。アトピー性皮膚炎をはじめ、食物アレルギー、接触皮膚炎、薬剤アレルギーなど幅広いアレルギー疾患の診療と最新治療にも力を入れております。地域の先生方と連携し、患者さんに最適な医療を提供できればと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

# リハビリテーション科のご紹介

リハビリテーション科では、入院中の患者さんに対し、副科として主科と連携しながらリハビリの処方を行い、療法士がその処方に基づいてリハビリテーションを実施します。

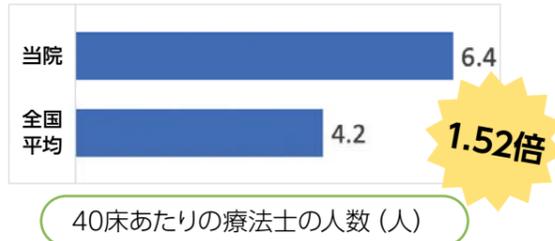


## 入院リハビリテーションの特色

### ● 充実したスタッフ構成

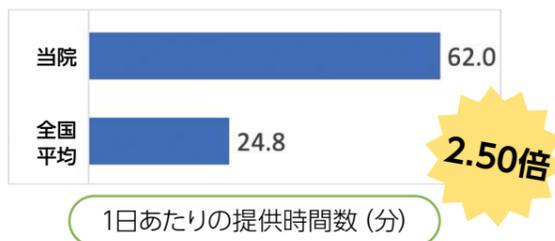
近隣病院には類を見ない、ベッド数に対するリハビリテーション療法士の多さを誇っています。  
 全国平均と比較すると1.5倍以上の療法士配置で、手厚いリハビリテーションを実現しております。

病床数: 370床  
 リハビリテーション医師数: 2名 (うち、専門医1名)  
 療法士数: 59名 (内訳: PT33名 OT18名 ST8名)



### ● 早期に、充実したリハビリテーションの提供

当院ではできるだけ早期からリハビリテーションを開始し、廃用症候群の予防や機能回復に努めています。2024年度の提供単位数は全国平均の約2.5倍に達し、患者さん一人ひとりに手厚いリハビリテーションを提供しています。さらに、休日も対応できる365日体制を強化し、「患者さんのリハビリテーションの機会を逃さない」ことを大切にしています。



### ● 充実した院内連携

患者さんの回復を促し日常生活が営めるよう、各部門が連携を取りながら援助しています。各病棟との合同カンファレンスや、看護師を交えて患者さんごとに転倒対策検討の場を設けるなど、情報交換を積極的に行っています。



転倒対策検討の様子

## TOPICS ～外来・入院～

以下の2つの評価・治療に関しては、外来での診療も行っております。  
 痙縮や嚥下機能に課題を抱える患者さんの評価や治療のご相談がありましたら、ぜひ当院へご紹介ください。

### ● ボツリヌス療法・装具療法

当院では、①歩行・把持などの機能改善、②装具着脱や介助動作の軽減、③痙縮による疼痛や不快感の緩和を目標に、医師・療法士が詳細な評価を実施し、エコーや筋電図を用いて正確にボツリヌス毒素\*を施注します。必要に応じて装具の見直しや外来リハビリテーションも実施します。

\*ボツリヌス毒素とは  
 ボツリヌス菌が作り出す物質ですが、感染性はありません。筋肉内に施注することで、当該筋の痙縮(筋肉の過度な緊張)を緩和することができます。

対象疾患: 脳血管障害や脊髄損傷など

実績: 施注179件 (2024年度)



写真1



写真2

写真1 ボツリヌス療法の様子 写真2 ボツリヌス療法後の定期的な歩行評価の様子  
 ※患者さんから許可を得て、掲載しています

### ● 嚥下機能検査 (VE・VF)

当院では、嚥下障害の患者さんに対して、障害の病態や程度、適切な食事内容を評価するために嚥下内視鏡検査 (VE) や嚥下造影検査 (VF) を外来・入院を問わず30分程度で実施しています。

対象疾患: 脳血管障害や認知症、加齢など

実績: VE 276件、VF 179件 (2024年度)



写真1



写真2

写真1 VE検査の様子 写真2 VF検査の様子  
 ※患者さんから許可を得て、掲載しています

担当 松浦 広昂 講師 (リハビリテーション科) 外来担当日 水曜日・金曜日

# 血管撮影装置が新しく導入されました！



放射線部に最新血管撮影装置：Azurion 7 B20/15が新たに導入されました。

## 第23回病診連携学術講演会

10月11日（土）にグランコート名古屋にて第23回病診連携学術講演会を開催いたしました。当日は地域の医療機関より46名の先生方にご参加いただき、当院医師による講演を行いました。また講演会後には軽食を取りながらの情報交換会も開催され、今後の地域連携に向けて交流を深めました。

次回は2026年秋の開催を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。



### 日時

2025年10月11日（土）  
講演会：16:00-17:30  
情報交換会：17:40-18:30

### 会場

ANAクラウンプラザホテル  
グランコート名古屋  
（名古屋市熱田区金山1-1-1）

### 講演会内容

講演Ⅰ「三叉神経痛と片側顔面痙攣における医療連携」	脳神経外科 小松 文成 教授
講演Ⅱ「呼吸器外科の高難度手術」	呼吸器外科 樋田 泰浩 教授
講演Ⅲ「当院における呼吸器内科診療の現状と展望」	呼吸器内科 廣瀬 正裕 教授
講演Ⅳ「脾切除・胆道手術の最前線」	消化器外科 加藤 宏之 教授
講演Ⅴ「変形性股関節症に対する低侵襲ロボット手術の実際」	整形外科 金治 有彦 教授

【編集発行】  藤田医科大学ばんだね病院 地域医療連携センター

【発行年月日】 2026年1月31日

〒454-8509 名古屋市中川区尾頭橋3-6-10

TEL:052-321-8171（代表）052-323-5927・5918（地域医療連携センター直通）

FAX:052-323-5726（地域医療連携センター直通） <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL2/>

